

菜の花通信in甘楽町

発行：菜の花プロジェクト in甘楽
 連絡先：群馬県甘楽郡甘楽町白倉 18-13
 TEL 0274-74-6442携帯 0903-069-4306
 強矢デザイン事務所内

赤城村、菜そばに視察を行いました

7月2日（金）かねてより計画中の先進地視察を行いました。参加された皆さんご苦労様でした。

当日9時にら・ら・かんに集合して出発、高速道路を時間程走ると、赤城インターを降り、10分程で菜そば店に到着しました。視察に協力いただきましたのは、菜そば組合長の下田進さんです。パイタリティーあるおじさんでした。開口一番「儲からないからやめた方がいいよ」。（いいんです私達だって儲けるつもりではありませんっから）と、内心思いながら、話を聞いたり、質問したり楽しい時を過ごすことができました。

以下に、判ったことなどを列記してみます。

菜の花の種類は、青森産の「キザキノナタネ」と思われます。搾油用の優れた品種です。種2袋を購入してきました。

菜の花栽培の最大の問題は、アブラムシが発生して隣接の野菜類に影響することだそうです。野菜畑から5メートル以上離すこと。こんにゃく、稲、麦等は、影響ないとのこと。

種まきは9月であるが、一度蒔いてしまうと2年目からは、収穫漏れの種が残っているので自然に生えてくる。むしろ、有りすぎる菜を間引かなければならない。

雑草は、思っていたより生えない。菜の花の方が強い。

追肥は3月上旬にちゅうこうしながら行っている。

刈り入れはコンバインで行う。10たんぶ0000円で請負もする。

1タンブあたり収量 300kg である。搾油量は5升（9リットル）

油は瓶詰めで新治農協で作っているようである。750ml 700円 油かす 1kg/150円

搾油した油は九州の和紙で濾過している。

刈り入れ後の作業は、

- 1 コンバインで刈り入れ
- 2 乾燥（手が差し込める程度まで）
- 3 脱穀機で殻を取る。
- 4 とうみにかける
- 5 搾油

以上、貴重な実践経験に学ところが大変あり、有意義な視察となりました。

甘楽町に戻った後は、菜の花の栽培予定地を見に行きました。

- 1 富田さん所有 約 20a
- 2 古舘さん所有 20a および牛舎などの建物
- 3 三浦さん所有 30a
- 4 甘楽町管理 中小路駐車場となり 20a

県の菜の花エコプロジェクト推進モデル事業に認定の内示がありました。

申請中の県の菜の花エコプロジェクト推進モデル事業に認定の内示がありました。補助金は当初通り40万円となっています。県の補助事業となった訳で、行政とのパートナーシップが一層深まりました。楽しく、しっかり事業を進めてゆきたいと思えます。今後は会員の募集、ボランティアの募集も行いたいと思えます。この事業に理解と協力のできそうな方に声をかけて下さい。

菜の花プロジェクトin甘楽 各部会スケジュール

	菜の花を植えて咲かせる 責任者 新井利春	油を搾る 責任者 竹内	バイオディーゼルの 責任者	商品の販売開発 責任者 古舘
7月	種の発注 先進地視察	先進地視察	BDP精製の仕組みを勉強	
8月	苦土石灰蒔き	搾油機械の設計 研究	プラントの設計 研究	
9月	畑を耕す。除草。うねをつくる 種を蒔く 9/24.25			
10月				
11月				
12月				
2006 1月				
2月				
3月	追肥			
4月				お花見会
5月				菜の花祭り
6月	収穫 種をとうみ等で選別			
7月	搾油			